

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます（パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です）。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

## 公園で楽しく進めよう！市民協働！

笹本 英輔（創政会）



録画配信の  
2次元コード

### ◆公園を市民協働の発表の場に！

- ①公園に関する苦情・要望・意見の管理と情報の共有はどのように行っているのか。
  - ②公園内での飲食店の臨時出店、民間事業者のイベントを許可する考えは。
  - ③公園に市民の視点を取り入れるには。
- 都市建設部長** ①児童がボールを追いかけて飛



家族も地域も  
みんな楽しく！

び出すことが危険であるとの苦情や、公園内の高木の育ち過ぎた枝葉の剪定に関する樹木管理についてなどの要望がある。これらの苦情や要望については、公園管理台帳システムで管理し、情報の共有を図っている。

②都市公園内での行為には狭山市都市公園条例に基づく制限があり、小規模な公園についても条例に準じて制限があるが、公益性が高い団体が主催するイベントの中で、民間事業者が飲食店を出店したりイベントを行うことについては、許可をしている事例もある。今後も条例に従って、個々に内容を精査し、許可の是非を判断していくことになる。

③現在、市民から市に対する意見や提案を聴取する「私の提案」制度などを通じて、公園利用に関しても多くの意見や要望を聴取しているが、改めてアンケート調査などを実施することも有意義なものと考えられることから、今後検討していきたいと考えている。

## まちづくり拠点施設を求める声が地域交流施設に繋がった

三浦 和也（創政会）



録画配信の  
2次元コード

### ◆入曾公民館利用団体の最も多い年齢構成は

アンケート調査の回答で、入曾公民館利用団体の最も多い年齢構成と男女の構成比は。  
**市民部長** 70歳代で構成される団体が約54%、女性のみが約31%とそれぞれ最も多い。

### ◆施設の正式名称は、いつ頃に決まるのか

入曾地区地域交流施設(仮称)の正式名称は。



新築工事が進む入曾地区  
地域交流施設(仮称)

また、いつ頃、正式に決まるのか。  
**市民部長** 「地域交流センター」とする方向で、検討を進めている。「狭山市立公民館・狭山市地区センターの狭山市地域交流施設(仮称)への再編に関する計画」を市議会などへ提示し、意見などを聴取した上で名称の案を決定し、地域交流施設の条例案を、平成31年12月議会に提出して、議決を得て正式に決定することになる。

### ◆カフェコーナーについて

カフェコーナーの運営事業者の形態は。また、調理室のような貸室とは異なるのか。  
**市民部長** 地域住民や地域の各種団体が主体的に運営することのほうが目的にかなっていると考えられるが、入曾地区地域交流施設(仮称)整備推進委員会の中で協議していきたい。また、市が運営事業者に対して行政財産の使用許可の方法により場所を貸すもので、地域住民の利用に供する貸室とは位置づけが異なる。

## 高齢者福祉の充実と財源の確保

千葉 良秋（創政会）



録画配信の  
2次元コード

### ◆住み慣れた地域で暮らす

住み慣れた地域で安心して暮らせるための介護保険サービス以外の支援の内容は。  
**長寿健康部長** ひとり暮らし高齢者等に対しての緊急通報サービスの提供や、認知症のひとり歩き高齢者に対しての位置情報サービスの提供及び安心シールの交付、軽費老人ホームの短期利用に対する助成金の支給や、家族介護者に対



協議体とは  
関係者が地域の課題や地域づくりの方向性を話し合い・共有し、生活支援のための活動やサービスをつくる協働の場。市域全体を担当する第1層協議体、日常生活圏域程度の範囲を担当する第2層協議体がある。

する手当の支給などを実施している。

### ◆ニーズ調査から見た課題

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によって見た課題と、その解決に向けた取り組みは。  
**長寿健康部長** 社会からの孤立の防止とともに、身の回りの簡単な生活支援が必要な方が増え、そのニーズも高まっていくものと見られ、第2層の協議体活動の充実を図るとともに、いきいき百歳体操の拡充などに取り組んでいく。

### ◆地域での共助の取り組み

生活支援コーディネーターの役割と人員の配置はどのようになっているか。  
**長寿健康部長** サービスの提供体制の構築に向けたネットワークづくりや生活支援の担い手の養成などの役割を担うもので、市内全域を対象とする第1層協議体に1名を配置している。

## 災害時要援護者名簿の積極的活用を

大沢 えみ子（日本共産党）



録画配信の  
2次元コード

### ◆活用についての現状

災害時要援護者名簿の策定状況と自治会との協定状況は。  
**危機管理監** 災害時要援護者の対象は、高齢者世帯や障害者など、自力で自宅の外へ避難することが困難な方で、平成29年12月現在1万



救急医療情報キット

8,630名。このうち、自ら名簿への登載を希望された方は9,493名である。災害時要援護者の避難支援体制づくりに関する協定を締結している自治会は、現在121の自治会のうち、66の自治会であり、名簿に登載された方のうち、自治会へ名簿情報が提供されている方の割合は、約6割である。

### ◆救急医療情報キットとの連携

より多くの方の協力を得るために、救急医療情報キットの仕組みと連携した名簿の活用を。  
**危機管理監** 救急医療情報キットは、緊急連絡先や医療情報を入れた専用の容器を、平常時から冷蔵庫に保管し、災害時には避難支援者などに情報を活用してもらえことから、名簿の活用を促進する方法の1つとして有効であると認識するが、個別避難支援計画書の作成と同様に、あらかじめ避難支援者と顔の見える関係をつくっておく必要があることも含め、検討していく。

その他のテーマ▶地域包括ケアシステムの構築 ▶狭山市高齢者福祉計画における基本方針

その他のテーマ▶老人福祉センターの充実

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313